

最近のバングラデシュ経済情勢

平成 18 年 3 月
在バングラデシュ日本大使館

1. 国内経済

(1) マクロ経済

- 経済成長は堅調: GDP 成長 5.3%(02/03 年度) → 6.3%(03/04 年度) → 5.4%(04/05 年度暫定値)。昨年 10 月に策定された貧困削減戦略文書 (PRSP) によれば、6.5%(05/06 年度) → 6.8%(06/07 年度) → 7.0%(07/08 年度)を目指す。
- インフレ率は上昇: 4.4%(02/03 年度) → 5.8%(03/04 年度) → 6.5%(04/05 年度暫定値)。過去 1 年間の平均は 7.0%。次期選挙を視野に入れた現政権にとっては、生活必需品価格の上昇の抑制政策が重要。
- 為替レートはタカ安が進展: 2003 年 5 月末の変動為替相場移行後 1 年程は US\$1=58Tk 前後で安定 → その後、ドルに対するタカ安が進展、現在は US\$1=68Tk 前後で推移。
- 外貨準備高の増加: 25 億ドル(02/03 年度) → 27 億ドル(03/04 年度) → 29 億ドル(04/05 年度暫定値)。
- 対バ海外直接投資が増加: 3.68 億ドル(02/03 年度) → 4.58 億ドル(03/04 年度) → 04/05 年度、大型案件の関心表明。
- 海外労働者送金の増加: 30.6 億ドル(02/03 年度) → 33.7 億ドル(03/04 年度) → 38.5 億ドル(04/05 年度暫定値)。

(2) 開発戦略及びガバナンス

- 貧困削減戦略文書 (PRSP)を策定 (2005 年 10 月): MDGs の達成を視野に入れつつ、①雇用の創出、②栄養の改善、③教育における質の改善、④地方ガバナンス、⑤母子保健、⑥衛生と安全な水、⑦犯罪・司法制度、⑧モニタリングを貧困削減に向けての戦略的課題として提示。これらの課題を中心に、経済成長、人間開発の促進、ガバナンスの改善という三つの政策上の視点から、個別戦略の詳細を提示。具体的な方策を政策マトリックスとして纏め、更に、PRSP のモニタリング・評価のための指標や枠組みも提示。
- 貧困率は着実に減少: 58.8%(91/92 年度) → 51%(95/96 年度) → 49.8%(00/01 年度)(バングラデシュ統計局発行 2000 年家計所得支出調査報告書)
- 社会指標は改善: 乳児死亡率の低下 (1000 人あたり 94 人: 1990 年 → 53 人: 2002 年 → 18 人: 2015 年目標)、初等教育就学率の上昇 (56%: 1990 年 → 87%: 2002 年 → 100%: 2015 年目標)。
- ガバナンス改善は進展せず: 法と秩序の悪化が国内経済に与える影響が懸念。

2. 対外経済

(1) 南アジア地域協力連合 (SAARC): SAFTA が本年 7 月に発効

2004 年 1 月、第 12 回 SAARC 首脳会議で加盟国は SAFTA (南アジア自由貿易協定) 枠組みに調印。2005 年 11 月-12 月に開催された第 12 回専門家委員会会合では、SAFTA 実施に関する懸案事項についての交渉が妥結し、2006 年 7 月から SAFTA が発効することが決定された。

(2) インド・バングラデシュの経済関係: 依然として大きな対印貿易不均衡

- バの貿易赤字が問題: 対印貿易赤字は 15 億ドル (03/04 年度、全赤字の 46%)。
- インド・バングラデシュ間の自由貿易協定 (FTA)

<バングラデシュにとってのメリット>

関税・非関税障壁の撤廃により 10 億人のインド市場へのアクセスが拡大。

→インド市場を狙った外資の対バングラデシュ進出が増大→国内雇用が拡大。

→バングラデシュの運輸・交通網が整備。

(3) 中国・バングラデシュの経済関係:急速な緊密化

- 近年、二国間の貿易不均衡が急激に拡大(03/04 年度バの貿易赤字は 11 億ドル、全赤字の 35%)。
- 温家宝首相の訪バ(2005 年4月)の際に、中国政府はバ製品の輸入拡大措置に同意。また、二国間経済技術協定及び有償協力に関する枠組協定に署名、有償での経済インフラ開発支援について前向きな検討を約束。
- 温家宝首相の訪バのフォローアップとして中国商業副大臣が訪バ(2005 年5月)し、バ製品の輸入拡大措置としてバの輸出振興に関する支援を約束、輸出加工区(EPZ)を視察、中・バ合同経済貿易委員会を開催。
- ジア首相の訪中(2005 年8月)では、輸出信用によるインフラ開発支援の検討、及び無償による環境セクター支援を約束。

(4) 対外貿易:MFA 失効後の縫製品輸出は堅調

- バングラデシュの輸出額は、65 億ドル(02/03 年度) →75 億ドル(03/04 年度) →86 億ドル(04/05 年度暫定値、対前年度比 14%増)。主な輸出先は欧米諸国。
- 多国間繊維協定取極め(MFA)失効後、縫製品の輸出落ち込みが懸念されていたが、2005 年度、布帛縫製品は 36 億ドル(対前年度比 1.7%増)、ニット製品は 28 億ドル(対前年度比 31%増)とそれぞれ増加。

3. 日バ経済関係

(1) 投資:ジア首相訪日(2005 年7月)のフォローアップが進展

- 日本からの直接投資:294 万ドル(04/05 年度、輸出加工区を含まず)
- 昨年9月、野島日バ経済委員会委員長が訪バ、日本トレードフェアを開催、ビジネス・フォーラムにおいてダッカ日本商工会は投資環境改善に関する提言を発表。本年2月、日本・バングラデシュ商工会議所(JBCCI)は25項目から成る投資環境改善に関する提言書をバングラデシュ政府に提示。

(2) 貿易:バングラデシュの恒常的な対日貿易赤字

対日輸出(04/05 年度):1 億 2,241 万ドル

対日輸入(04/05 年度):5 億 5,920 万ドル

(3) 政府開発援助(ODA):我が国の対バ援助が進展

- 対バ援助実績:157 億円(2004 年度)(有償:113 億円、無償:21 億円、技協:22.5 億円)
円借款:92 億円(2002 年度) →なし(2003 年度) →113 億円(2004 年度)
- 対バ援助戦略策定及び実施の進展:我が国の対バ国別援助計画を改定作業中、共通国別援助戦略(世銀、ADB、英 DFID、日本)の下で連携、セクター毎の援助方針及びローリングプランを策定。

以上